

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束マニュアルを整備するとともに、日中の施錠については職員間で工夫できないか話し合うなど、解消に向けて検討が必要。	身体拘束マニュアルを作成する。 日中開錠する。	法人統一の身体拘束マニュアルを追加し、マニュアル集をグループホームに常置する。 入居者様の居場所の把握、見守りが出来ている場合、日中は開錠する。	1か月
2	33	契約時にあらかじめグループホームの現状や方針を伝えるなど、重度化した場合も家族が不安を感じない対応が必要。	家族との話し合いを密に行う。	入居者様について、日頃の状況をこまめに教えたり、家族からも聞くようにし、普段から話しやすい雰囲気、何かあった時も不安等、話しやすい状況を作っていく。	12か月
3					か月
4					か月
5					か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。